

平成 20 年 10 月 27 日

**アイメッセ山梨で「住まいの耐震博覧会」開催
50 社の工務店が出展し、家づくりをピーアール**

- ・ ナイス株式会社（平田恒一郎社長、本社：神奈川県横浜市）は、全国で展開する住宅関連総合イベント「住まいの耐震博覧会」を 10 月 25 日(土)、26 日(日)の 2 日間、アイメッセ山梨において開催し、3,114 人が来場しました。
- ・ 同博覧会は、現行耐震基準への建て替え、耐震性の高い木造住宅工法の提案、制震・免震装置の紹介、耐震改修の促進等をテーマに、一般消費者の皆様には展示を公開することで、安全・安心な住まいづくりに寄与していくことをねらいとしており、同名称による山梨県での開催は今回が初となりました。
- ・ 当日は、「免震」装置の作動した場合の揺れと「非免震」の違いを体験できる地震体験車をはじめ、模型などを活用した地震対策の解説、耐震性の高い住宅工法の実物大躯体、地震の揺れを低減させる「制震装置」、耐震補強部材と施工方法の紹介などを行い、一般消費者の方々に地震に強い住まいづくりをご理解いただける展示を行いました。
- ・ また、山梨県内の工務店様 50 社がブースを出展し、「耐震」をテーマにした地震に強い家づくりや耐震補強の具体的な方法などの展示を行ったほか、ムク材などの自然素材を使った家づくりの提案など、自社の特長を生かした展示を行い、一般来場者に対して自社のピーアールを行ったり、既存のお客様との接点強化の場として積極的に活用する姿が数多く見受けられました。
- ・ 山梨県内を震源とする過去の大地震発生はほとんどないものの、高い確率で大地震の発生が予測されている東海や神奈川県西部などの影響を強く受けるエリアとされており、政府の地震調査研究推進本部が平成 18 年 9 月 25 日に公表した「全国を概観した地震動予測地図の更新」における地震発生確率では、山梨県庁付近が今後 30 年以内に震度 6 弱以上の揺れに見舞われる確率は 81.8%と、静岡について全国第 2 位に位置づけられています。このような中、25 日には住宅の耐震化を普及するイベントとして NHK 甲府放送局のニュースで取り上げられたほか、開催前日（24 日）にはテレビ山梨の情報番組でも紹介されるなど、住宅の地震対策への高い関心がうかがわれました。

【「住まいの耐震博覧会・甲府」開催結果】

日 時：平成 20 年 10 月 25 日(土)、26 日(日)
場 所：アイメッセ山梨
主 催：ナイス株式会社
内 容：木材、建材、住宅設備機器の最新の製品展示および住宅の耐震化に関する展示
来場者：3,114 人

お問い合わせ先

ナイス株式会社 広報室 森・浦木 (045) 501-5048
本社：神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-33-1 ナイスビル